

平茂27年8月27日(木)
同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ 中国地方建設記者クラブ 広島県政記者クラブ 広島市政記者クラブ
広島高速道路公社 交通管理課長 菅原 光敏 保全課長 河村 洋治 TEL：082-508-6820 082-508-6822

広島高速3号線高架橋における落下物事故について

広島高速3号線高架下で保管していたマツダ(株)の出荷前の車両が、落下したコンクリート片により損傷したものです。なお、人的被害はありません。

1 経過

① 8月26日(水) 11:00頃

マツダ(株)が車両の損傷を発見。(原因と思われるコンクリート片は同社が保管。)

② 8月26日(水) 15:00頃

同社から公社へ本件事故についての通報。

③ 8月26日(水) 16:00頃

公社職員が事故発生現場付近の橋梁部を双眼鏡による調査を実施するとともに、同社から事故内容を聞き取り、事故原因と思われるコンクリート片の現物を確認。(剥離箇所は確認できなかった。)

④ 8月27日(木) 11:00～

広島高速3号線高架橋の何れかの部分からコンクリート片が剥離し落下した可能性があるため、剥離箇所について点検開始。

⑤ 8月27日(木) 17:00

広島高速3号線橋脚の一部が剥離していたことが判明。

2 事故発生場所

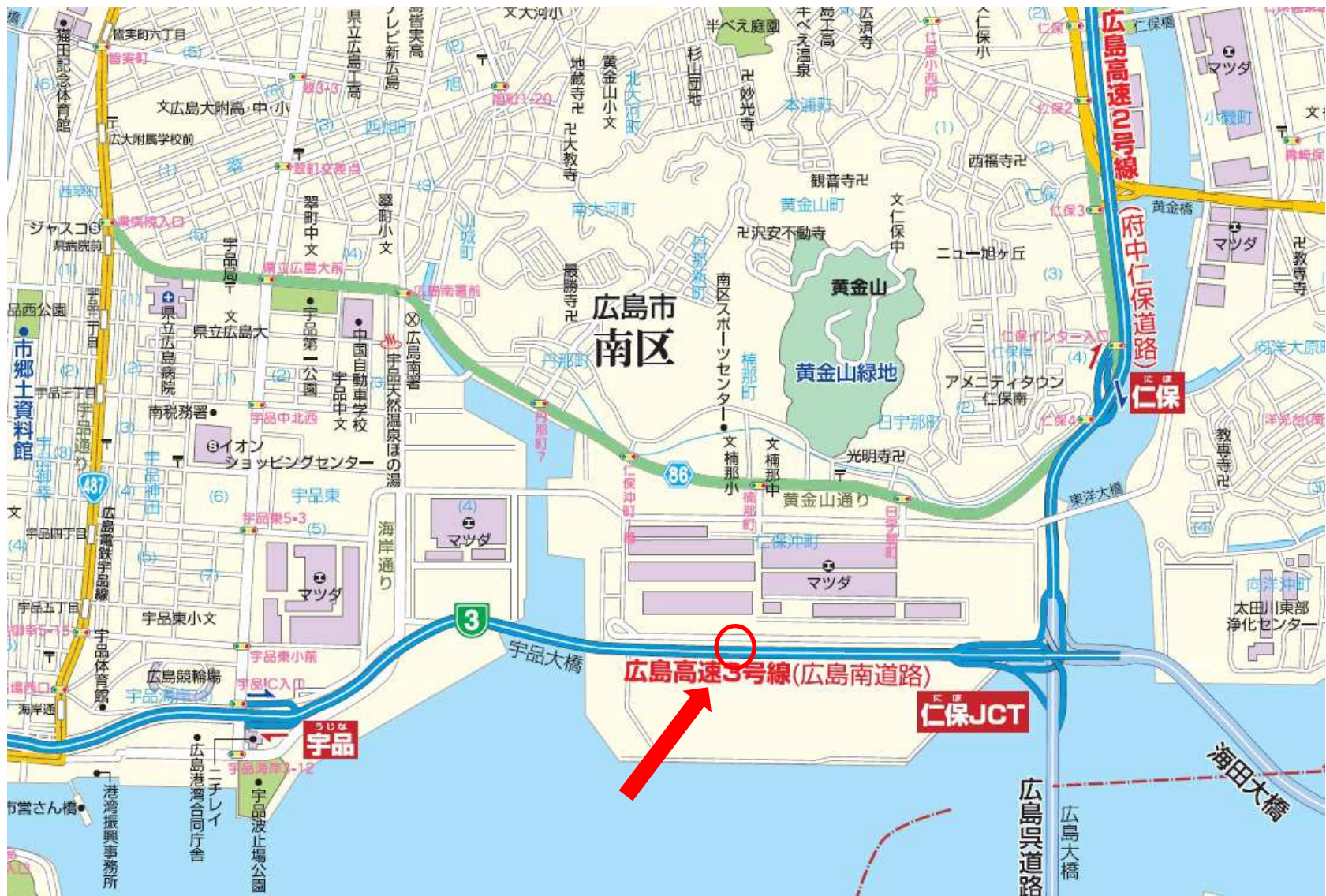
広島市南区仁保沖町(マツダ(株)敷地内車両保管場所)

3 落下物

7～8cm×3cm(厚さ最大2cm)のコンクリート片

4 今後の対応

広島高速3号線I期区間(仁保～宇品)を対象に橋脚の点検を行い、危険箇所が確認された場合は、危険箇所の除去等緊急対応を行うとともに、補修方法等を検討し、適切に対応する。





コンクリート破片落下によりフロントガラスの割れ被害発生

